

勝林寺人報

—正信偈のはなし—

如來所以興出世 教主世尊は弥陀仏の
唯説弥陀本願海 普賢の説かんと生れたもう
五濁惡時群生海 潤りの世にしまどもの
應信如來如實言 教のまこと信すべし



まだ、野にも山にも雪が深いのに、小鳥のさえずりに、ふきのとうの縁に、もえたつてくるのです。如來さまも実は、そのようにして、私たちにはたらきかけてくださるのです。如來さまは、四十八願の、第十七番目の願に、こんなふうに願われています。

「私が、如來であるためには、いろいろな国でいろいろな仏たちが、私の名（南無阿彌陀仏）をほめたたえて、衆生に聞かしてくれるだろう。もしそうでなかつたら、私は如來とはいわれますまい。」

いまから三千年前、インドに出られたお釈迦様は、いわば春を私たちに告げてくれた梅の花のようなお方です。南無阿彌陀仏という如來さまの名をたたえて、私たちに如來さまのましますことを告げるために、この世にお出ましになつたお方です。ですから、お釈迦さまが、この世にお出ましのです。その如來さまがましますことを、私に知らすためなのです。

阿彌陀如來さまの、ましますことをお説きになつたお經を、だから釈迦出世本願の經とよぶのです。そのお經が「大無量壽經」です。

「弥陀の五切思惟の願を、よくよく察すれば、ひ

出石組で行なつてある「連研」第三期の終了式が本山で行なわれます。勝林寺の研修生八名が参加いたします。

お釈迦様が、この「大無量壽經」をお説きになつたときのこ様子が、ありありとのべられております。他の、いかなるお經を説かれたときのこ様子とは、全く違つて、いかにも輝いています。それもそのはずです。このときのお釈迦様は普等三昧といふ阿彌陀如來と一つになつた境地でお説きになつたからです。

お釈迦様が、それ程までに生命かけてお説きになつた「如來の真実」とはなんだつたのでしょうか。それは、如來は（お釈迦様も）、ただただ、「五濁惡時の群生海」をすくいたいといふことです。それが如來の真実であり、そのことを説くのがお釈迦様の使命だつたのです。

「五濁惡時の群生」とはだれのことでしょう。お釈迦様の時代から、だんだんへだたると、この世は五つの濁りにみたされてしまう。その濁りの世を、丁度海の上をたゞようように、浮き沈み死んでゆくその凡夫をこそ、救わずにおかないと、はたらくべきださるのが如來ですか

聞 法 の 集 い

出石組の「仏社連盟」にも「仏婦連盟」にも、今度立派な会旗ができました。この旗の披露を機会に、みんなでおみのりを聞こうと「集い」が開かれます。

一人でも多く、さそい合つて、おまいり下さい。

三月六日（日）午後一時半より

龍谷大学教授 北畠典生先生

会場 勝林寺

おひがん

ひがん？あつちの岸のことなんて考えておれませんか。今日一日どうくらうと、こつちの岸のことを考えるのに四苦八苦の毎日だのに。でも、まづくらやみの波の上の船をこぐむなしさよりも、夜が明けて、モヤのかなたに、かすかに彼の岸が見えたなら、同じ日々の苦しみにも、新たなはげみが出てこないでしょうか。今日は主義、現実主義、生活主義というところだけ生きてきた私たちには、いまやその今日の生活の現実に、おぼれ死にしてしまつているのではありませんか。生と死の彼の岸を、みすえながら生きていこうとすめるのが仏教です。

お彼岸を、私のくらしにも持ちたいものです。お彼岸に、お寺へ参らぬと、虫になる」と昔の人はいました。

三月二十一日は

勝林寺のおひがん

第三期「連研」終了式

三月十三日（日）ご本山で

とえに親鸞一人がためなりけり。（如來さまの願い、お釈迦様のおはたらき、それらをよくよく思ひめぐらしてみると、ほかでもないただこの親鸞のためであります。）

三月のこよみ

親鸞を救うためにこその如來の本願であり、五濁の群生親鸞に、如來の御名を、南無阿彌陀仏と聞かせるために、この世に出て下さつたお釈迦様の如來の真実を、仰がずにはおれようか（応信の群生親鸞）と、うたわれてあるのです。

二月	二月
二十五日	みのりを聞く会
二十六日	谷垣逸雄氏宅忌明、「連研規定みな
二十七日	おし委員会」
二十八日	石田隆男氏宅法事、矢根お寄講
二十九日	田村嘉一氏宅法事
三十日	組画変更検討委員会
四月	中島春夫氏宅法事、出石組坊守会
五月	ひめじ地区寺族講座
六日	組画変更委員会（神戸）
七日	出石組仏社仏婦合同「聞法のつどい」
八日	連研講師研修会（神戸）
九日	坂本貢氏宅法事
十日	玉田会定期説教
十一日	足立富吉夫氏宅法事
十二日	金久繁一氏宅法事・前坊守祥月命日
十三日	坂本貢氏宅法事
十四日	勝林寺春彼岸会
十五日	組画変更委員会（神戸）
十六日	出石組仏社仏婦合同「聞法のつどい」
十七日	組画変更委員会
十八日	中島春夫氏宅法事、出石組坊守会
十九日	石田隆男氏宅法事、矢根お寄講
二十日	田村嘉一氏宅法事
二十一日	組画変更委員会（神戸）
二十二日	坂本貢氏宅法事
二十三日	坂本貢氏宅法事
二十四日	坂本貢氏宅法事
二十五日	坂本貢氏宅法事
二十六日	坂本貢氏宅法事
二十七日	坂本貢氏宅法事
二十八日	坂本貢氏宅法事
二十九日	坂本貢氏宅法事
三十日	坂本貢氏宅法事

